

令和8年を迎えて 新年のごあいさつ



宇佐市議会議長
永松 郁



宇佐市長
後藤 竜也

明けましておめでとうございます。宇佐市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げますとともに、市民の皆さまには、夢多き初春を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然災害が全国で多発した年であったように思われます。特に、8月の記録的な大雨では、北海道から九州にかけ14道府県で被災したほか、年末には大分市佐賀関地域での大規模な火災が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに一日も早く穏やかな日々が訪れますことを心よりお祈りいたします。

本市においては、幸いにも大きな災害は発生しませんでしたが、年々激しさを増す風水害、そして、近い将来発生するであろう南海トラフ巨大地震に対する心構えと備えの重要性を再認識したところであります。また、本市では4月に行われた市長選挙において、市民の皆さまの信任を受け、後藤竜也市長が新たに誕生しました。

昨年を振り返ってみると、大分市で発生しました大規模火災をはじめ、各地を襲った台風や線状降水帯、山火事など災害に見舞われた1年でした。本市においても農地などを中心に災害が発生しており、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧に全力を尽くしてまいります。

そのような中、宇佐市制施行20周年、本市のシンボルである宇佐神宮は御鎮座1300年を迎えた。NHKの「ゆく年くる年」でも宇佐神宮から中継がされるなど、まさに令和7年

明けましておめでとうございます。皆さまには輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年4月には、市民の皆さまからのご信任を

いただき、第3代宇佐市長として、市政の舵取

りを担わせていただきました。時代の変化に柔軟に対応しながら「選ばれるまち、

誇れるまち、安心して暮らせるまち」を目指し、

市民の皆さんとともに「新しい宇佐市」を創造

してまいります。

明けましておめでとうございます。宇佐市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げますとともに、市民の皆さまには、夢多き初春を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然災害が全国で多発した年であったように思われます。特に、8月の記録的な大雨では、北海道から九州にかけ14道府県で被災したほか、年末には大分市佐賀関地域での大規模な火災が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに一日も早く穏やかな日々が訪れますことを心よりお祈りいたします。

本市においては、幸いにも大きな災害は発生しませんでしたが、年々激しさを増す風水害、そして、近い将来発生するであろう南海トラフ巨大地震に対する心構えと備えの重要性を再認識したところであります。また、本市では4月に行われた市長選挙において、市民の皆さまの信任を受け、後藤竜也市長が新たに誕生しました。

さて、本年は、人口減少、少子高齢化、若者の都市部流出への対応など、本市が抱える課題は多岐にわたるなか、後藤市長の市政運営に本年も大きな期待を寄せていているところです。行政と議会の関係を示す言葉に「車の両輪」という表現がござります。これは、行政と議会が対等の立場で相互にチェックし合うとともに、足りないところを補い合う存在で、2つそろって初めてしっかりと機能するものである、という意味合いからの例えでございます。国内の経済情勢は緩やかな回復を見せていましたが、物価高や原材料費の高騰により市民生活にはまだ大きな影響を与えていました。議案の審議や一般質問などを通じ、これまで以上に市民の皆さまの福祉の向上に寄与してまいりたいと、我々議員一同、決意を新たにしてまいりたいと、我々議員一同、決意を新たにし、本年も市政発展のため努力を惜しまない所存でございます。

さて、本年の干支は「午」です。馬は古くから人の暮らしを支え、幸せを運ぶ縁起の良い動物とされていることから、午年は「躍動」「成功」を象徴する干支といわれています。本市が活力あふれるまちとなりますよう、私ども市議会といたしましても市民の皆さまからいただいたご意見を市政に反映させ、身近な存在に感じられる市議会を目指し、引き続き研鑽を重ねてまいります。

結びに、今年一年が市民の皆さまにとりまして最良の年となりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

は宇佐神宮から幕開けしました。市内でも、第83期将棋名人戦を皮切りに、奉祝コンサートや提灯行列に古代宇佐時代祭、そして、10年に一度の臨時奉幣祭（勅祭）などが催され、多くの方が宇佐市にお越しくださいました。市民の方々が宇佐市にお越しくださいました。市民の豊富な観光資源を広域的に結び付けることで周遊観光の確立とインバウンドを含む交流人口の拡大を目指して、台湾台南市と別府市との観光交流協定を締結しました。また、子育て支援として子育て応援祝金制度を継続実施するとともに、物価高騰対策として市民生活と市内事業者の支援のため、地域振興券「宇佐市民全力応援チケット」を配布しました。加えて、本市初となる公営トレーニングジムを含む西大堀地区公園がオープンし、宇佐駅の待合室やトイレをリニューアルしたところです。

さて本年ですが、長引く物価高騰や大規模災害への備え、とりわけ全国的にも加速する人口減少は深刻な問題です。私自身も市政2年目を迎えるにあたり、限られた財源の中ではあります、時代の先を見据えた政策を積極的に進め、挑戦と躍動により豊かな宇佐市を築いてまいいる所存でございますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまの今年一年のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたしまして、新春のごあいさつといたします。

